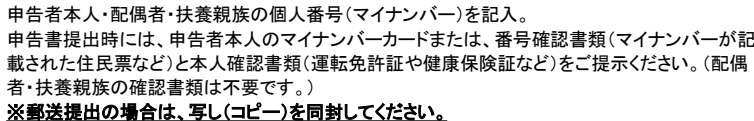


（収入がある方用）



申告書上部の枠内に氏名、生年月日、住所、電話番号、個人番号等を記入してください。

令和8年 1月1日の住所	十和田市西十二番町6-1						提出年月日	令和8年2月16日		
現住所	同上	<div>申告内容を問い合わせる場合がありますので、日中連絡がとれる電話番号を必ず明記してください。</div>						電話番号	自宅・勤務先・携帯 090 - 1234 - 5678	
フリガナ	トワダ タロウ							フリガナ		申告者から見た続柄
氏名	十和田 太郎							代理人氏名		
生年月日	大・昭・平・令 31年1月1日生							代理人電話番号	自宅・勤務先・携帯 - -	
個人番号	222222222222	性別	男・女							

**申告内容を問い合わせ
する場合がありますの
で、日中連絡がとれる
電話番号を必ず明記し
てください。**

※営業・農業・不動産いずれかの収入がある場合、裏面③④⑥についても記入。

**あてはまる控除の内容、
支払金額等を記入。**

※記載例になりますので、収入の種類や金額によって、所得金額及び控除額が変わります。

・医療費控除
を選択の場合
は、医療費の
支払金額と保
険金などで補
填される金額
を記入。

・セルフメ
ディケーション
税制を選択
の場合は、特
定一般医薬品
等購入費と保
険金などで補
填される金額
を記入。

また、添付書類について該当するものにチェック。

- ・配偶者控除、配偶者特別控除の適用を受ける場合または同一生計配偶者がいる場合に記入。
- ・配偶者の令和7年中の合計所得金額も記入。

令和7年12月31日時点で
障害者手帳などの交付や要
介護認定を受けている場合
は、特別障害または普通障
害にチェックのうえ該当す
るものに○をし、等級を記
入してください。

社会保険料控除や生命保険料控除は、令和7年1月～12月までの支払額を記入。

**在席している学校名、
学年を記入。**

寡婦・ひとり控除のうち、自分の該当箇所にチェックをし、死別・離婚などの該当事由を○で囲んでください。

【給与や年金のみの場合】
給与や年金の収入から控除額を引いた金額を記入。

扶養親族がいる場合、氏名等記入し、区分欄に○をしてください。
うち特定親族特別控除の適用を受ける場合は、特定親族の令和7年中の合計所得(収入から控除額を引いた金額)も記入。

◆老人…70歳以上 ◆特定…19～22歳 ◆一般…16～18歳
23～69歳 ◆年少…16歳未満

※年齢は、令和7年12月31日時点で判断。

裏面も記入してください



③ 事業（☒ 営業等・☐ 農業）所得の収支計算表

業 種	小売業		屋 号	十和田商店		
営業場所	十和田市西十二番町12-12					
項 目			金			
収入	売上（収入）金額	660,000				
	家事消費費					
	収入計 ④	660,000				
必要経費	売上原価（仕入金額）	200,000				
	⑤ 給与支払報告書を提出してください					
	雇用費	20,000				
	減価償却費	187,500				
	地代家賃					
	租税公課	固定資産税				
		自動車税				
		水利費・組合費他				
	水道光熱費					
	通信費					
	損害保険料					
	修繕費					
	消耗品費	1,900				
車 両 費		30,000				
経 費 計 ⑤		439,400				
専 従 者 控 除 ⑥						
所得金額 ④ - ⑤ - ⑥		220,600				

営業所得・農業所得がある場合

1.事業所の名称・所在地を記入。
2.表面に記入した収入・経費の内訳を記入。
3.専従者控除の適用がある場合、専従者控除⑥欄に金額を記入。

【注意】
・雇用費がある場合、市役所へ給与支払報告書を至急、提出してください。
・自宅兼用の費用は、事業で使用した割合で按分してください。

④ 不動産所得の収支計算表

種 目	<input checked="" type="checkbox"/> 貸家・ <input type="checkbox"/> 貸地・ <input type="checkbox"/> 貸田畑・ <input type="checkbox"/> その他()		
資産のある場所	十和田市東十番町10-10		
項 目		金	
収入	家賃	900,000	
	地代		
	収入計 ①	900,000	
必要経費	減価償却費		
	固定資産税	70,000	
	損害保険料	50,000	
	修繕費	150,000	
	経 費 計 ②	270,000	
専 従 者 控 除 ③			
所得金額 ① - ② - ③		630,000	
⑥ 事業専従者の内容			
専従者	1	氏名	続柄
		生年月日	大昭平令 . .
		個人番号	専従者給与支払額(円)
	2	氏名	続柄
	生年月日	個人番号	専従者給与支払額(円)
専従者給与支払合計額(円)			

不動産所得がある場合

1.該当する用途の種目欄にチェック。
2.貸している資産の所在地を記入。
3.表面に記入した収入・経費の内訳を記入。

【注意】
・必要経費は貸している資産に係る分のみ記入してください。
・自宅の固定資産税などは含めないよう注意してください。

営業所得・農業所得・不動産所得がある場合で、専従者控除の適用がある場合、専従者の氏名や個人番号（マイナンバー）などを記入。

⑤ 給与明細の内容

月	日	給	勤務日数	月 収	社会保険料
1		円	日	円	円
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
賞 与 等				円	円
合 計				円	円

勤務先	所在地	
	名称	
	電話番号	

営業所得・農業所得・不動産所得で減価償却資産がある場合に記入。
※減価償却の対象となる資産は、建物・車両・機械・器具などの使用可能期間が1年以上で、取得費が10万円以上のものになります。

⑩ 減価償却費の内容

減価償却資産の名称	取得年月	取得価額 ①	償却の基礎になる金額 ②	耐用年数	償却率③	償却期間④	事業専用割合 ⑤	償却金額 ⑥	未償却残高
軽自動車	R7年4月	1,000,000	1,000,000	4年	0.25	9 / 12	100 %	187,500	812,500
	年 月			年		/ 12	%		
	年 月			年		/ 12	%		

※⑥は①の金額を記入してください。ただし、平成19年3月31日以前に取得した資産は、①×0.9の金額を記入してください。

⑪ <課税となる収入がなかった方> 令和7年中の生活状況について記入してください。 ※該当する項目の前の□に✓を入れてください。

□ 1. 下記の者に扶養されていた		□ 2. 非課税の年金や恩給、障害年金・遺族年金、雇用保険（失業給付金）等を受けていた	
住所	申告者と同じ	年	月 日まで
氏名			
□ 2. 非課税の年金や恩給、障害年金・遺族年金、雇用保険（失業給付金）等を受けていた		□ 3. 家族の援助（借入金で生活）を受けていた	
種類	□ 障害年金・□ 遺族年金・□ 雇用保険（失業給付金）	□ 家族の援助（借入金で生活）	
年額	円	円	

令和7年中に収入があった方は、この欄の記入は不要です。